

Q.4 「若さ」と「視力」に自信がある？

<解説>

「高齢者の飛蚊症は、ほとんど老化現象！なんと、近視の人にも同様の現象！」

歳をとると硝子体はゼリー状から液状に変化し、硝子体は次第に収縮して網膜から剥がれます(硝子体剥離)。このような変化が飛蚊症の症状をもたらしますが、髪が白髪になるのと同じようなもので、生理的な現象です。また、若い人でも強度の近視の場合には、この硝子体剥離が早期に起こりやすく、しばしば飛蚊症の訴えがあります。

眼科の検査において、このタイプの飛蚊症と診断された場合は治療の必要はなく、多少うっとうしいと感じますが、慣れれば特に問題はありません。

<アドバイス>

普通は硝子体剥離自体は病気ではありませんが、ときに網膜裂孔や網膜剥離という病気(Q5参照)を引き起こすこともあるので注意が必要です。定期的に検診を受けるか、『浮遊物』が急に多く見えるようになったら、早急に受診してください。

